

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																			
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考					
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業所の大多数を占め、市内商工業の基盤をなす小規模事業者の持続的発展に努める。また、創業・経営革新への積極的な支援・促進を実施する。このため、窓口での相談指導をはじめ、多忙な小規模事業者の対応を高めるべく積極的に巡回相談指導を行い、7年で地域小規模事業者を一巡するとともに、事業所の課題を把握し、解決提案をする事業計画の作成並びに補助金等申請・手続きの伴走型支援を行う。	巡回・窓口指導（非会員） 実企業数 1009(67) 延べ指導件数 2,500(79) 課題解決提案件数51 経営革新承認数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 142.9%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 102.0%)			小規模事業者の体質改善支援及び各種施策普及を行う事ができた。また、課題解決提案を51事業所に対応し、経営力向上の支援をした。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果		満足度	補足	目標	より多くの事業所の課題を把握し、解決提案する事業計画づくりの伴走型支援に注力していく。	○
				目標数値	1,750	実績数値	2,500	目標数値	50	実績数値	51					A		A	①上げる②現状維持				
記帳継続指導	市内個人小規模事業者の自主記帳能力を養成し、小規模事業者の経営改善に資することを旨とし、記帳から決算申告に至る一貫した記帳継続指導を行う。また、電子申告に対応もしていく。	・指導事業所数 70事業所 ・指導延日数 546日 ・指導延回数 836.5回	小規模事業者	指標	指導事業所数 (達成度 102.9%)			指標	指導延回数 (達成度 107.2%)			経理事務の省力化の他、売上状況や経費等の速やかな把握により、経営改善策定や経営の方向性・営業方針の決定等に有効であった。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	機械的に毎月帳簿入力をするだけでなく、試算表から見えてくる数値を事業所へ理解してもらいような指導をしていきたい。		
				目標数値	68	実績数値	70	目標数値	780	実績数値	836.5					A		A		両方現状維持			
講習会等	市内事業所の大半を占める小規模事業者が抱える経営上の問題点を解決するために、経営知識の普及の方法として集団講習会を開催し経営の安定を図る。個別講習会は専門家相談を通じて、事業所の課題解決や事業計画策定・実行支援への助言・指導を行う。また、あいち産業振興機構や金融機関等との連携により、事業承継を中心に相談者発掘等行う。	集団指導 9回 受講者109名（全体173名） 個別指導 66回 受講者数84名（全体109名）	小規模事業者	指標	集団指導年間受講者数 (達成度 90.8%)			指標	個別指導年間受講者数 (達成度 164.7%)			集団指導は、地域中小・小規模事業者のニーズに応え、受講者には今後の経営安定の一助に繋がった。個別指導は、地域小規模事業者が抱える問題点を、専門家を交えた解決策を見出すことで、地域振興と事業経営者の経営安定に資することができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	開催回数等検討し、小規模事業者の参加者数を増やすしていく。		
				目標数値	120	実績数値	109	目標数値	51	実績数値	84					A		A		両方上げる			
創業支援	事業者は当地域経済の活力と雇用の維持の源泉を担っている。当地域の事業者数を増やすことで、地域の振興に資する。創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者の知識習得、創業計画策定を支援することで、スムーズな開業へと繋いでいく。また、知多ビジネスプランコンテストへの応募を促し、創業計画を支援する。	創業支援者数39名 管内創業者数6名 起業家支援セミナー受講者数20名 ハンズオン支援者数0名 起業家支援セミナー「創業塾」卒業生起業家の集い参加者数8名	創業希望者及び創業後5年以内の小規模事業者	指標	創業相談延べ件数 (達成度 65.0%)			指標	起業家支援セミナー受講者数 (達成度 100.0%)			支援機関が創業にかなう環境づくりを重視することで、事業者数の自然減を抑えるとともに地域の活力づくりに繋がっている。創業計画作成を機とした継続的な伴走支援を実施することにより、創業後の安定的な経営及び変化に対応できる経営力の向上に繋がっている。	総合評価	B	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	創業相談対応に関しては、待ちの姿勢であることから、更なる広報強化が必要。起業家支援セミナーの参加者に関しては、人数こそ少ないが、満足度は高かった。	○	
				目標数値	60	実績数値	39	目標数値	20	実績数値	20					B		B		両方現状維持			
青年部・女性部事業	青年部は次代を担う青年経済人として、若手経営者・後継者・幹部職員等が、人格教養を高め、経営能力の向上と企業の発展を図るため、自己研鑽に資する研修事業と共に、商工会議所活動への参画、協力を通じて地域経済、地域社会の繁栄に貢献する。また、異業種交流の場としての活用で、会員相互の連携と人脈作りへと繋いでいく。また、女性会は、会員の資質向上を図るとともに、女性の視点から職業を通し街の活性化に積極的に取り組む。	◆青年部：研修会5回開催、延317名、参加率：46.5%。 一般事業12回、延741名、参加率：45.7% ◆女性会：ゆかたお直し15名、ふれあい産業まつり15名、美健康教室10名、参加率36.3% 青年部・女性会平均事業参加率41%	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者	指標	青年部・女性会事業参加率 (達成度 82.0%)			指標	（達成度 %）			青年部は、今年度研修系委員会が2委員会組織され、例年より研修回数を増加した。1月視察研修では沖縄の基地問題に揺れる辺野古地区の訪問を行うと共に、那覇YEGとの交流も行った。また、女性会は、ゆかたお直しとふれあい産業まつり事業を通じて地域貢献活動ができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	青年部も女性会とともに、より会員の参加率を高めるとともに、資質向上に努める。		
				目標数値	50	実績数値	41	目標数値		実績数値						B		A		現状維持			
				目標数値		実績数値										A							
				目標数値		実績数値											A						

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D 評価			今後の展開・改善点等		備考			
若手後継者育成事業（活躍する女性セミナー）	労働人口の減少により、今後ますます社会における女性の活躍が望まれ、女性が働きやすい職場環境など、課題も多く山積する中で、まずは女性自身が行動できる事として、身体づくり、言わば健康づくりである。女性の永遠のテーマ「健康・美」に着目し、セミナーを通して、いつまでも元気に働ける身体づくりを目指し、女性として、そして社会人・企業人としての質を高めて、今後様々なおとずれのビジネスシーンに役立ててもらう。	講師に西川真知子先生を迎え、当所大会議室にて【朝から就寝までの忙しい日々の中で楽しく簡単に行えるデトックスプログラムとヨガ】のテーマでセミナー開催。参加者は67名（内19名女性会員）。その内アンケート回収は49名（回収率73%）。前半は西川真知子先生によるデトックスの講話、後半はヨガ実技。	当所の女性会会員等	指標	事業参加者数 (達成度 304.5 %)			指標	アンケート調査結果回収率 (達成度 73.0 %)			総合評価	A	事業評価の	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標
				目標数値	22	実績数値	67	目標数値	100	実績数値	73				目標達成度		A	必要性		廃止
若手後継者育成事業（全国研修会参加）	青年部活動の原点は、会員企業の発展、それに準じ地域経済の活性化を通じた地域貢献にある。会員の資質向上と、会員企業の持続的発展を常に意識した事業運営を行うため、各会員が経営に関する知識や教養を獲得し、自らがレベルアップすることで、社業の付加価値向上へと繋げる。その中で、全国会長研修会への参加を予定し、各地商工会議所青年部の指導的役割を担う当該年度会長、次年度会長予定者等が、各々が所属する青年部単会の直前課題等について、同じ立場の者同士で意見交換を行うと共に、時流に合った政策提言などについて学ぶ機会を設ける。参加し、得た情報を単会にフィードバックし、新たな人脈を築くことで、青年部組織の活性化、自社企業の発展等へと繋げていく。	11月8日（金）から長野県長野市にて開催された全国会長研修会に参加。各セクションに分かれた研修会では、日本YEGに加入した他単会の同立場のメンバーと交流もできた。	当所青年部会長及び、次期指導的立場となる者	指標	事業参加者数 (達成度 100.0 %)			指標	アンケート調査結果回収率 (達成度 100.0 %)			総合評価	A	事業評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	次年度、青年部は公開型研修会を予定しており、青年部会員からも、自己研鑽となるべく研修への参加を促すと共に、参加者からは満足度の高い研修を得られるよう努める。
				目標数値	3	実績数値	3	目標数値	100	実績数値	100				目標達成度		A		必要性	
商店街・街づくり事業（推進室含む）	市内商店街の衰退が進み、中心市街地の活気が無くなっている。そこで関係団体である商工会議所、中心市街地3商店街、市商連、㈱はんだ賑わいビル開発、㈱トロー・アバンセの5団体が中心となり商店街の活性化・まちづくりと中心市街地の活性化を推進する。また、平成30年度に動き出した地元若手事業者がすすめる中心市街地活性化へのアクションに対し商工会議所として共に取り組んでいく。賑わい創出、商業活性化の各種事業の実施により、中心市街地をはじめとする地域の賑わい創出、まちづくりを支援する。	・半田市商業施設助成事業活用事業者2事業所 ・知って得するゼミナール36講座、来店客数340名 ・市商連主体事業「第4回はんだ商業まつり」を開催。参加事業所数61事業所 ・中心市街地商業活性化にぎわい事業「はんだまちなかフェスティバル」参加事業所数61事業所 ・商業振興を図るべく、まちなかハッピー宝くじを実施。参加事業所数104事業所 ・まちづくり推進室 賑わいイベント「クリスマスコンサートinクラシティ」を開催し、300人來場 ・クラシティ1階の空き店舗を借り受け、チャレンジショップ事業を実施	中小・小規模事業者	指標	半田市商業施設助成事業利用数 (達成度 20.0 %)			指標	知って得するゼミナール受講者数 (達成度 113.3 %)			総合評価	B	事業評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	より多くの参加店を募集し、参加者満足度向上を目指す。半田市商業施設助成事業および知って得するゼミナールとも周知徹底し、目標数値は再度同じ設定とする。
				目標数値	10	実績数値	2	目標数値	300	実績数値	340				目標達成度		B		必要性	
観光振興・醸すブランド化事業	当地の近代の繁栄を築いてきた産業のひとつである「醸造業」、および生活に根付く「醸造文化」に着目した地域活性化の取り組み「醸-KAMOSU-事業」を生かし、賑わいの創出、販売拡大に繋げることで小規模事業者の振興と経営の安定に寄与。交流人口の増加策を企画し、継続的な事業を実施する。また、地域資源である「半田運河」への年間を通じて誘客を仕掛ける半田市、半田市観光協会等の支援機関と協働し、商品開発支援・販促支援を行い、継続的な仕組みを構築するとともに小規模事業者の「稼ぐ力」づくりを行い、小規模事業者の振興に繋げる。	・商品開発・販売促進セミナー・個別相談会実施（食のビジネスフェア あいち知多半島メッセ2020内）…参加受講者数延べ14名 ・はんだ醸すごはん事業…参加事業者数延べ74事業者 ・知多半島観光圏協議会への参画	中小・小規模事業者	指標	商品開発・販売促進セミナー受講者数 (達成度 70.0 %)			指標	事業参加事業者 (達成度 164.4 %)			総合評価	A	事業評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	目標①は醸す関係者向けセミナー及び相談会は実施しない。目標②は引き続き事業者の意識づくり、意識向上を図る取り組みを実施し、参加事業者数の更なる向上に努める。
				目標数値	20	実績数値	14	目標数値	45	実績数値	74				目標達成度		B		必要性	
商談会・ビジネスマッチング事業	展示会や商談会を開催し、市内事業者が参加することにより、事業者の新たな取引先を開拓し、事業の拡大に繋げることを目的とする。事業者の取り組みや新商品等を広く紹介し、ビジネスマッチングの機会を創出する。また、金融機関等との連携を強化し、食のビジネスフェア あいち知多半島メッセに取り組む。	◆757アスパーク発掘市2019（6/24日～6/28）：参加事業所7、商談確定件数28 三河、知多地域商談会 参加企業数 発注企業3 受注企業1 ビジネスフェア「あいち知多半島メッセ」 出展企業32社（小規模事業者23社）	中小・小規模事業者	指標	アラバ―事業商談確定件数 (達成度 186.7 %)			指標	ビジネスフェア出展事業所数 (達成度 80.0 %)			総合評価	A	事業評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	広報強化を行い、参加企業数、商談確定件数ともに維持し、多くの小規模事業者の経営に資することを目指す。
				目標数値	15	実績数値	28	目標数値	40	実績数値	32				目標達成度		A		必要性	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績	達成度	指標	実績	達成度	総合評価	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標	実施方法
部会・委員会事業	最近の企業ニーズに合った事業企画を実施し、事業所のレベルアップを図る。部会・委員会の会議並びに研修会等を通じて事業所間での異業種交流も図られ、経営改善事業との相乗効果が見込まれ、企業発展に寄与する。	部会：会議33回、事業25回 委員会：会議15回、事業8回	中小・小規模事業者	指標	会議・事業実施回数 (達成度 135.0%)	指標	(達成度 %)	部会・委員会活動を通じて、地域や中小・小規模事業者の支援になる事業が実施できた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も、部会・委員会事業を通じて、小規模事業者の支援に繋げていく。	
検定等支援事業	各種検定試験を実施し、地域の人材育成を支援するほか、地域社会に貢献する。	検定試験の開催 (①珠算・簿記・リテールマーケティング・PC、②カラーコーディネーター・ビジネス実務法務・福祉住環境コーディネーター・環境社会検定) 検定受験者数:①日商検定1,288人、②東商検定242人	中小企業従業員や一般市民	指標	検定受験者数(人) (達成度 95.6%)	指標	(達成度 %)	日商・東商検定を通じて、地域の人材育成に繋がった。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	実績に基づき目標を下げると共に、広報強化を行い、各事業所へ情報提供し、受験者増加を目指す。また、一般市民に向けても公共施設等での広報を行い、受験者増加を目指す。	
福利厚生事業	小規模事業者の健全な経営、雇用を図るため、各種共済制度を普及し、福利厚生の充実を図る。	あおぞら共済加入促進キャンペーン春・秋に実施 共済新規加入者数:206人	中小・小規模事業者	指標	あおぞら共済新規加入者数 (達成度 137.3%)	指標	(達成度 %)	春と秋のあおぞら共済加入促進キャンペーンを通じて、従業員の福利厚生制度の提案ができ、共済新規加入199人に繋がる事ができた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	共済制度リニューアルに伴い秋のキャンペーンは実施しない方向。しかし、より多くの事業所へあおぞら共済の加入をすすめる。	
労働保険事業 (労働保険事務組合)	事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理することで中小企業事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進及び各種制度の推進を図る。	・中小事業主の労働保険事務の代行 委託事業場数 265事業所	小規模事業者	指標	委託事業所 (達成度 106.0%)	指標	(達成度 %)	労働保険に関する事務処理の軽減と、適正処理が図れた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	今後とも、より多くの労働保険事務組合受託事業所を目指す。	
産業団体等指導事業	関係団体の事業を支援し、指導育成を通じて、各事業所の経営力の強化を図る。	半田市商店街連合会 7回 衣浦港振興会 4回 日本珠算連盟半田支部 21回 日東会(工場団地) 7回 (公財)日本電話ユーザ協会知多地区協会 1回	各種団体の会員	指標	事業実施回数 (達成度 222.2%)	指標	(達成度 %)	地域社会に対する貢献、各団体の強化と事業所の経営力強化が図られた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	補助対象職員の関連する団体が減少のため、目標を下げる。今後とも、各団体と連携し、小規模事業者に必要な事業を開催し、経営力の強化を図るとともに、地域活性化の一役を担う。	
調査・広報事業	内部環境・外部環境の様々な変化が経営に及ぼす影響は大きく、規模の大小を問わず事業者は常にその動向を探り、適応していかなくてはならない。取りまとめた地域の動向・情報を円滑に提供することにより、経営に資していただく。広報では、会報誌『カイギンジョゲッポウ』、メールマガジン等を通じて各種情報の発信を行うことで、事業者の経営の方向性を決定する一助を担う。	◆景気動向実態調査先80事業所に、4半期に一度実施。 ◆ホームページ年間アクセス数109,351件	中小・小規模事業者	指標	景気動向実態調査調査先事業所数 (達成度 100.0%)	指標	ホームページ年間アクセス件数 (達成度 145.8%)	景気動向実態調査を調査先80件に4回行い、取り纏めた情報を次調査時に提供できた。ホームページに関しては、ゲッポウとの連動により、施策や事業を広報することで、市内事業者が情報収集することができ、経営の一助となった。	総合評価	A	事業側評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①下げる②現状維持 実施方法 現行どおり	景気動向実態調査に関しては、訪問数を変更し、訪問先への支援をより密なものにしていく。HPアクセスに関しては、本年同様広報強化を行い、各事業への施策普及や、セミナー案内等を行い、小規模事業者の経済的発展の支えに寄与する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。